試合記録表							平成23年11月30日(水)							16:30 ~ 18:00						
対戦相手:オーストラリアU21代表							場所:シドニーHBホッケー場						天気:くもり							
結果 ①.					清水香代			6.	高田結菜 ①			1).	佐々木美知			16.) 永井友理			
2.					景山 恵			7	杉本美紀 (1			12.	松	松瀬有里			金	藤祥子		
日本U21 2 1-4] オーストラリ			3	錦織えみ		8)	武井双葉		13.	浦島千春		Q3.	山田明季				
口本	.021 2	1-0]4	7U21		4.	岡	岡田彩果		9	日	隈	遥	14.		笠原佳乃				
				5.	近藤理美		10.	義浦絵吏子		15.	伊藤綾乃		乃							
日本		5	10	15	20	25	30	35	小	計	5	10	15	20	25	30	35	小	計	総数
25ヤードへの進入		2	1	1	0	4	0	0		8	1	1	1	2	1	1	1	8	3	16
サークルへの進入		1	1	1	1	0	0	0	4		0	1	2	1	0	1	1	6	3	10
シュート数		3	0	1	1	0	0	0	5		0	0	2	0	0	1	1	4	1	9
PCの数		0	0	0	1	0	0	0	1		0	0	1	0	0	0	1	2	2	3
LCの数		0	0	4	1	0	1	0	6		0	1	0	1	2	0	0	4	1	10
Р	Sの数	0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0	0	0	0	()	0
相手		5	10	15	20	25	30	35	小	計	5	10	15	20	25	30	35	小	計	総数
25ヤードへの進入		1	4	0	4	4	9	5	2	27	3	2	1	5	3	2	2	18		45
サークルへの進入		1	4	0	2	1	4	2	1	.4	1	1	1	3	2	1	0	(9	23
シュート数		1	4	0	2	0	2	2	1	.1	0	0	1	3	1	0	1	(3	17
PCの数		2	2	0	0	0	0	1	•	5	0	0	1	0	0	0	0]	L	6
LCの数		0	1	0	1	0	1	2	•	5	0	0	0	2	2	1	1	(5	11
	Sの数	0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0	0	0	0	()	0
得	チームネ	占	時間			シューター	アシスト スコア			1.AUS					失点図解					
	オーストラリア		3	PC 13		13	6	6 0-1			2.AUS						3.AUS			
	オーストラリア		6	FG		6	2 0-2				\									
失	オーストラリア		8	PC 6		6	17	17 0-3			I FALSE			C IDN						
	日本		17	Р	С	11	12 1-3			4.JPN	S.AUS				,			6.JPN	0.JFIN	
	オーストラリア		26	F	G	5	13	1-4												
点	日本		61	F	G	9	11							0						
									7	8			8				9			
経										10				11				10		
								<u> </u>					11				12			
過																				

女子日本代表ジュニアホッケーチーム試合結果												
遠	征	名	女子日本代表U21オーストラリア遠征	B	時	平成23年11月30日(水)						
対	戦 相	手	オーストラリアU21代表		μσ	16:30	~ 1	8:30				
場		所	シドニーHBホッケー場	天	候	くもり						
結		果	(1-4)	試	合数	日本 1戦	勝	1敗	分			
E	1本U2	<u>?</u> 1	2 { 4t-217U2	武	口 奴	戦	勝	敗	分			

試合内容(前半)

日本のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから、オーストラリアのスピードのあるドリブルと、 力強いストロークにより日本は押される。3分には、最初のPCを奪われる。これをゴール左上にフリックで決 められ、日本は先制をされる。さらに、リズムのつくれない日本は5分にFG、8分にPCのリバンドを決められ 3点を許してしまう。徐々に、リズムを取り戻した日本は、ショートパスを繋ぎ、17分にPCを取得する。これ を#11佐々木がヒットシュートを決め1点を返す。しかし、26分には23m付近真ん中からゴール前へのロング パスをタッチされ4点目を奪われ、1-4で前半を折り返す。

(後半)

後半に入り、落ち着きを取り戻した日本は、オーストラリアに押されながらも体を張った守備で得点を許さない。さらに、日本はショートパスから、大きくサイドチェンジをかけて相手サークル付近へ攻撃を仕掛ける。61分には、左サイドからオーバーラップをかけた#11佐々木がゴール前にセンターリングを打つ、そのボールを#9日隈がタッチしゴール左上段に決め2点目を奪う。オーストラリアも、後ろで回しながらセンターリングで得点を狙いにくるが、日本の守備陣が粘りを見せ得点を許さなかった。結局、前半1-4、後半1-0、計2-4で日本は敗れた。